

2019年1月31日

川村 若葉

名古屋大学大学院法学研究科博士前期課程

綜合法政専攻リーディングプログラム2年

(1) 研修の概要

2018年12月20日～12月30日

12月21日～25日：テヘラン

12月26日～27日：イスファハン

12月28日～29日：カーシャーン

(2) 研修前のイランのイメージ

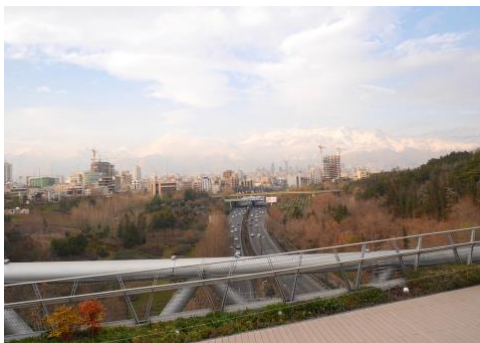
イランにおける法と社会の関係を修士論文のテーマとしており、これまで何人かのイラン人研究者の方にインタビューをさせていただいた経験から、イラン人はとてもフレンドリーでよくお話する人達だなという印象があった。しかし、経済制裁下の現在のイランの街中の様子や治安などは全く未知であったため、漠然と、制裁を受けて街に活気がないのではないかと、あまり治安は良くないのだろうなというイメージを持っていた。

(3) 研修で学んだこと

わたしの抱いていたイメージと異なり、制裁下においても街中に活気があり、外を歩いても治安が良くないと感じることはほとんどなかった。

10日間、3都市を周り、色々な人に会ったり、色々な場所に連れて行っていただいたりしたが、特にこのプログラムが印象に残ったというよりは、全体を通して SIR の学生や先生とイランのことや国際情勢について議論できたことが印象深い。イラン人はとにかく気さくで良く喋る。特にテヘランでは学生とのディスカッション、SIR の先生による講義、各所への表敬訪問などで、イラン人と話す機会が多くあり、聞き手に徹してしまうとこちらが話す隙がなくなるほど話をしてくれた。イランの歴史やイランにおけるイスラム教の役割、外交の基本方針、他国との関わり方など多くの有益な話を聞くことができたが、一方で、どの話も同じような視点で語られていたのが残念であった。皆が同じように、ペルシャ文化がどれだけ歴史深く洗練されたものであるか、イスラム教がどれほど平和的な宗教であるか、イランの外交における正当性等々について主張しており、反論やこの先の展開について質問しても、納得のいく回答を得ることができなかった。例えば、アメリカの JCOPA (Joint Comprehensive Plan of Action) からの離脱について、イランの正当性とアメリカの不当性を何度も強調されたが、何故アメリカが離脱して制裁を再開したのか、今後制裁解除に向けてイランはどうすべきなのかなど、現実問題として重要な部分は触れられることがなかった。また、イランが西欧メディアの誤った報道によって誤解されていると

主張していたが、何故誤解を招くような報道がされているのか、どうすれば誤解を解くことができるのかは聞くことができなかつた。どうしたら彼らの考えを聞き出せるか、わたし自身も事前に考えておくべきだったと反省した。要するに、本研修で出会ったイラン人は自国や自国を取り巻く国際情勢について知識豊富で非常に熱心であり、そのレベルの高さには感心し、学ぶべきところが多い。他方、議論が一方的・閉鎖的になりがちであり、そのような姿勢が現在のイランの国際社会における立場を作り出しているのではないかと感じた。



テヘランのタビアット橋から見た市内の様子。道路のインフラが綺麗に整備されており、高層ビルや建築中の建物が多い。(12/21/2018 撮影)



テヘラン大学での講義の様子(12/24/2018)

#### (4) 今後を活かしたいこと

研修前、わたしの修士論文には、確かな方向性や何を伝えたいのかということが欠けていた。研修を通して、イラン人の考え方にイスラムの教えが影響を与えているのということと同時に、近代的な物の見方も感じた。イランの法律を見ても同じことが言える。全ての国内法規はイスラム的規範に倣うべきことが憲法に示されているが、西政法の強い影響がそのまま維持されている法律もある。これは、西欧的な考え方でいう、政教一致体制では語れない性質である。論文では、イスラム法学者による統治が確立されているイランで、法がどう社会と結びついていて実際に運用されているのかを実証し、他国からの理解が少しでも進むことを目標にしたい。

#### (5) プログラム改善に向けた提案

今回は午前中にテヘランに到着し、1時間ほどの休憩後に午後から市内観光をした。観光できる時間を初日から作っていただけたのは良かったが、成田→テヘランの移動が予想以上に大変だったため、かなり体力を消耗した。その疲労が後々の日程の中で出てきたので、初日はもう少し余裕のあるスケジュールでも良いのではないかと感じた。また今回の日程の中では、市民生活に触れることがなかなかできなかった。食事も全て SIR の方で負担していただいたので、物価がよく分からなかった。一度だけショッピングモールを数十分見て回ったが、スーパーでどんな物がどのくらいの価格で売っているかを見知ったり、ヒジャブを身につけていない女性を見かけたり、様々な興味深い発見があった。そういった、現地の人がよく行くような場所に行くのも面白いと思う。主に車移動をしていたが、地下鉄やバスなどの公共交通機関を1度でも使う機会があったら良かったと思った。